

武蔵野市市民活動推進委員会

第1回委員会 議事要旨

日時：令和元年 10 月 29 日（火曜日）

午前 10 時から正午

場所：武蔵野市役所 603 会議室

1 開会

- ① 委嘱状交付
- ② 委員自己紹介
- ③ 事務局紹介
- ④ 正副委員長選出

互選により、田中委員を委員長に選出

委員長の指名により、光田委員を副委員長に選出

2 議事

- ① 委員会運営について

案のとおり承認

- ② 武蔵野市市民活動促進基本計画改定計画の実施状況の評価表について

改定計画の実施状況の評価表について

改定計画について事務局より説明

委員長： 計画を策定すると、策定委員会は解散して、委員会としては終わりというのが通常だが、市民活動については、進捗状況の評価等を行うために常設の委員会を設置している。

計画の目標については、P3に記載しているところだが、趣旨としては、公益的な個々の市民活動が活性化するとともに、各団体間だけでなく、行政、民間企業も含めて連携していくことが重要というもの。

今期の委員会で取り扱うのは、昨年度実施した事業の実施状況をもとにした計画の進捗状況評価。本日は、重点施策について意見交換をし、次回は、基本施策についての議論を予定している。

事務局：上段が市の自己評価、下段が委員会としての評価という作りになっている。

1 - 1 市民活動のきっかけづくり

委員長：各重点施策について、関連する事業の一部を紹介していただいた上で、重点施策に関する行政としての自己評価を記載しているのが資料5ということ。重点施策ごとに、この委員会としての評価に関する議論をするという流れで進めたい。

委員：全貌が見えないので、進め方がわからない。説明いただいた情報だけでは足りない中で、委員会として評価するのは難しいと感じている。

委員長：各事業についての個別評価というよりは、ご自身の知っている、関わっている事業も含めて、全体としての評価をするということ考えていただきたい。

副委員長：個別事業評価ではなく、全体の評価ということで理解した。
例えばくらしフェスタを見ると、参加者の減少は単年度の事象なのか、経年の傾向なのか、ということも踏まえないとわからない部分がある。

委員：減少しているという状況があるということだが、人が集まればよいかということ、必ずしもそうではないところもあると思う。参加人数だけで評価ということではないのではないか。

委員長：事業評価というよりは、「きっかけづくり」という面を見たときにどうかという議論ができればと思う。

委員：市民活動は幅が広く、事務局から提示されたものは例示と認識している。例示されていないものも含めて情報を各委員から出していけると、広い視点で見ることができないのではないか。

場の提供という点では、情報の提供も含まれるかと思うが、参考指標の中で、男女平等推進センターの事業の来場者数が大きく伸びているほか、フェイスブックの市民活動かわら版の閲覧数が徐々に増えて

きている状況が見て取れる。プレイスの市民活動支援事業の参加者数も大きく伸びている。この辺りが成果として出ている部分かと思う。

きっかけづくりという点では、ボッチャをスポーツ推進員が各所で体験会を実施したが、自前の道具を用意したり、市民大会を開催したりと、様々なところで自主的な活動につながったという事例がある。

委員： 評価するにあたり、4年間で変動していない部分も気になる。SNSでの発信等、この数年で変わってきていることもある中で、前例踏襲ではなく、やり方等の見直しをもっとあっても良いのではないかと思う。

SNS等で多くの情報を取得できる状況になり、市に関連する事業ではなくても、様々なものに参加することができる。市の事業で重なっていて、取り合いをしているような状況もあるのではないか。そういった部分も含めて各事業の詳細がわからない状況なので、評価しづらいと感じている。

委員： どこに行っても同じ顔という状況があると感じている。この数字が、実体と乖離している部分があるのではないかというところがある。

同じ人が長く代表にいる団体は、様々なことが固定化してしまう。若い人等、新たな層が参加しやすいようなことを考えていく必要がある。

市民活動団体は仕事でやっているわけではないので、素人がやっている状況。会計についても、実際にどこまで意味のあるものになっているかという部分もあるので、そういった部分の支援があってもよいのではないか。

委員： 補助金の枠が狭いわりに応募数は多く、各団体のレベルも上がっている。今まで固定化されていた団体だけでなく、新たに活動したい団体が出てきている。活動が活発化しているという良い傾向だと思うが、一方で資金面でのサポートの間口がせまいという状況がある。その部分を改善することできっかけづくりにつながるのではないか。

委員： 行政が主催する部分と、プロデュースする部分と、分けて考える必要がある。

委員長： うまくプロデュースできれば、市民活動団体がきっかけづくりを行ってくれるということも考えられるかもしれない。

プレイスフェスタで工夫された部分を教えていただきたい。

事務局： これまでは講演会だけを聞いて帰るといったように、生涯学習から市民活動の部分につながるものが少ないことが課題だと感じていた。今回は初めて各団体の活動のパネルや募集のパネルを掲示したり、普段3階にある団体情報を記載したファイルを講演会会場に設置するなどの工夫をした。また、講演会后、懇親会を実施し、多くの方に参加していただいた。

2-4 市民活動に関する学びの機会の提供

委員長： きっかけづくりにつながる学びというものもある。そういったものも含めて広く学びの機会として捉えて議論できればと思う。

委員： プレイスの事業もそうだが、直接学ぶものと、企画等を通じて学ぶという形もあるという認識でよいか。

委員長： 講座等の学びの機会のようなもののほかにも、例えば活動を金銭面でサポートし、団体が活動していく中で学んでいくといったものも含まれると考えている。

委員： 生涯学習の補助金は、各団体が定例的な活動だけでなく、新しいことにチャレンジしようと考えたときに、行政として金銭面でのサポートをするということで始まったもの。間口を広くしていくということは重要である一方、同じものを続けるにあたって行政からの金銭のサポートありきとなるのがどうなのかという部分はある。

旧来とは違うやり方で様々な活動ができるようになっていく中で、団体がやりたいことをサポートするという方法も考えていく必要があるかもしれない。

委員： NPO 法人の補助金については、手間のわりに出る金額が小さいということもあり、手をあげる団体が減っている傾向もみられる。金額の上限を上げる等、どのように実施するかについて考える必要があると感じている。

活動にはお金の話がつきもので、持ち出しで活動していると疲弊してしまう。市民活動という大きな視点でどのようにお金をつけるかという考え方も必要。

2-6 コーディネート機能の強化

委員： 評価に書かれていることについて、コミュニティ協議会に関する記載は前向きな評価として捉えてよいのか。実感として、コミュニティ協議会がコーディネート機能を担えているかという点、難しい部分があると感じている。

事業主体なのか、貸館がメインなのかということがあるが、貸館で手一杯というのが現状だと思う。

地縁的な団体がコミセンを支えているが、そこに目的別団体が入ることは許容されづらい。各団体が部屋を借りて使用するというだけでは団体間のつながりは生まれにくい。団体用のロッカーを置き、フリースペースを確保する等、イベント以外にも地縁団体と目的別との交流が生まれる方策を考えていく必要がある。これまで積み上げてきたものを無にすることはないが、積み上げがあるが故に生まれている固定概念を打破できないと、コーディネート機能を担うことは難しいと思っている。

委員： 市民活動を推進するにあたって、場という環境を整えるということが重要。コミセンは使いづらいということもあるかと思う。その結果、プレイス等に利用が集中している。自由に使える部屋や、相談できる窓口があって、コーディネーターが各コミセンにいたら、全く違ってくると思う。窓口があっても相談できる人がいないということもある。

委員： 今のコミセンには価値があると考えている。コミセンができた時代背景として、当時インターネットや携帯電話等がない中で自治会がない武蔵野市においては情報が横に行き渡らなかったということがある。その中で、自分たちの力で情報を地域に行き渡らせよう、集まる場所、拠点を作ろうということできたのがコミセンだと思う。様々な団体がイベント等を通じてつながっているというのは、コーディネート機能という点でも一定機能しているということだと思う。

一方で、技術革新が進み、場所を超えてつながれるようになっていく。そういった広く自由に活動したいという層まで受け止められる状況にはない。

旧来からのものを否定するのではなく、プラスで生まれている活動をどのようにサポートしていくのか、という視点での議論が必要。

委員： 地縁団体としての核になっているコミュニティ協議会はすばらしいという前提で、40年前の精神がそのまま良いのかということ、つまり、過渡期にきているということだと思う。これまで頑張ってきていただいた方がいるからもっているという現状があるが、いなくなったらどうなるかということは懸念としてある。

委員： 様々な団体があると思うが、温度差はあると思う。団体運営のサポートについて学ぶ機会が必要ではないかと思っている。

委員長： 今日の議題について、11/12までにご意見等を事務局までいただきたい。

次回日程：12/3（火）10:00～